

鋼材の下敷き

「吊り下」には、絶対、絶対……入らないこと

『逃げ場』の確保

敷き鉄板・資材の積み降し作業時

ユニック作業に注意しましょう

ワイヤー、フック、シャックルの安全点検

H鋼の下敷き、死亡 作業中の50歳男性作業員

H鋼は、長さ10メートル、重さ3～5トン

2026/5/20(水) 9:51

19日午前10時45分ごろ、兵庫県の建築現場で、「作業中に鉄骨が倒れて体を挟まれた。意識があり顔から血を流している」と通報がありました。

警察などによりますと、鉄骨に体を挟まれたのは男性作業員（50）で、意識がある状態で病院に搬送され、午後10時半ごろ死亡が確認されたということです。

当時男性は、長さ10メートル、重さ3～5トンあるH鋼をジャッキで持ち上げ、ボルトをつける作業をしていたということですが、その途中でH鋼が倒れてきたとみられます。

「ジャッキの置き場所が悪かった」と話した作業員もいるということで警察が当時の状況を詳しく調べています。